

小学校 国語B

設問2 出題の趣旨

目的に応じ、文章と図とを関連付けて読むことができるかどうかをみる。



この問題は、「目的に応じて必要となる情報を取り出し、それらを関連付けて読むこと」に課題があることから出題されました。また、文章だけでなく、図と関連させるなど、前回解説したPISA型読解力との関連が深い問題です。

②

森山さんは、物事を決めることに関心をもち、次の「だれが選ぶ どれを選ぶ」という【文章】を読みました。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

(全国学力・学習状況調査の実際の問題をご覧ください。)

一 森山さんは、【文章】の中の難しい言葉とその意味について、次の【ノート①】にまとめています。ア・イの中に入る内容を【文章】の中から書きましょう。

二 森山さんは、【文章】の要旨(文章で取り上げている内容の中心や、書き手の考えの中心となる事から。)を次の【ノート②】にまとめています。ウ の中に入る内容を【文章】の中の言葉を使い、六十字以上、百字以内で書きましょう。なお、書き出しの言葉は字数にふくみます。

三 森山さんの学級では、音楽の学習グループごとに合奏をすることにしました。次の【楽器の分担図】は、【文章】の内容を参考に五人の希望を整理したものです。あとの(問い)に答えましょう。

(問い) 森山さんのグループでは、「希望者が一人の場合には、その人がその楽器に決まる」ということを確認しています。グループ五人は、楽器の分担をどのように決めていくことになりますか。【楽器の分担図】をもとにし、次の条件に合わせて説明しましょう。

〈条件〉 省略

学習指導要領に示されている言語活動例との関連

[第5学年及び第6学年] C 読むこと

イ 自分の課題を解決するために、意見を述べた文章や解説の文章などを利用すること。

設問一

目的に応じ、中心となる語や文をとらえることができるかどうかみる。

〔第3学年及び第4学年〕 C 読むこと

イ 目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと。

設問二

目的に応じ、文章の内容を的確に押さえながら要旨をとらえることができるかどうかみる。

〔第5学年及び第6学年〕 C 読むこと

ウ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などの関係をおさえ、自分の考えを明確にしながら読んだりすること。

〔第5学年及び第6学年〕 B 書くこと

ウ 事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。

設問三

文章と図を関係付けて、自分の考えを書くことができるかどうかみる。

〔第5学年及び第6学年〕 C 読むこと

ウ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などの関係をおさえ、自分の考えを明確にしながら読んだりすること。

〔第5学年及び第6学年〕 B 書くこと

エ 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書くこと。

一つの設問に対して、これだけ指導事項があるのか。学習したことを関連付けて、論理的に考える力が身に付いていなければ、解くことができないな・・・。



全国学力・学習状況調査の過去の国語の問題に数多く取り組ませても、なかなか成果があがらないわけね・・・。
A問題のように、指導方法を工夫すると言っても、これだけ指導すべき事項があったら、どこから指導してよいか分からないわ。

B 問題解決に必要な力



知識・技能を活用して課題を解決するために必要な
思考力・判断力・表現力

思考力 問題を解決するために、情報やこれまでの経験、知識等を関連付けて、論理的に考える力

判断力 必要な情報の選択や、関連付けにおいて、その適性について考え判断する力

表現力 思考・判断したことを言語化して伝え合い、よりよい考えに高める力



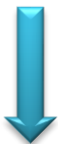
思考力・判断力・表現力を高めるためには、「**課題解決過程としての単元を貫く言語活動**」を設定することが大切です。

一例として

和の文化について調べよう 和の文化を受けつぐ (東京書籍 5年)

単元を貫く言語活動

本や資料を読んで調べたことをもとにして、和の文化についての説明会を開く。



「説明会を開く」という**ゴール**に向かう学習の中で、思考や判断や表現をしながら、以下のような力を「**活用**」していく

- 文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえる。
- 自分の考えを明確にしながら読む。
- 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりする。
- 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書く。
- 話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで話す。

単元を貫く言語活動を何に設定するかにより、活用する力も変わってきます。そのため、ねらいを達成するのに最適な単元を貫く言語活動を選ぶことが大切になります。

